



防府市役所

カーボンニュートラルチャレンジ宣言集



令和5年4月

～ 脱炭素で未来に繋ぐ 明るく豊かで健やかなほうふ！ ～ カーボンニュートラルシティ・チャレンジ宣言

近年、地球温暖化を一因とする気候変動により、集中豪雨や猛暑等の異常気象が頻発しており、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現は、社会全体で取り組み、達成しなければならない世界共通の目標となっています。

防府市はこの高い目標の実現に向け、

「いま！すぐ！みんなで！節電・ゴミ減・エコ移動！」

を合言葉に、「明るく豊かで健やかなほうふ」を次世代へ継承し、子ども達の笑顔あふれる未来を守れるよう、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「カーボンニュートラルシティ」に市民みんなでチャレンジすることを、防府市民を代表して宣言します。



令和 5年 4月22日

防府市長 池田 豊

防府市役所カーボンニュートラルチャレンジ

温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現は、社会全体で取り組み、達成しなければならない世界共通の目標であり、防府市は、「いま！すぐ！みんなで！節電・ゴミ減・エコ移動！」を合言葉に、「カーボンニュートラルシティ」に市民みんなでチャレンジします。

防府市役所では、「美しいふるさとほうふ」を守るため、各課で目標を定め、職員一人ひとりが、いま！すぐ！できることを、率先して実行します。

●防府市役所における令和5年度のカーボンニュートラルチャレンジ

- ・ 不要な照明や離席時のPCモニターなどを消灯し、節電に努めます！
- ・ 分別の徹底やコピー用紙の使用量削減など、ゴミ減に努めます！
- ・ 通勤時の自転車や公共交通機関の利用を促進し、エコ移動に努めます！



組織

・組織のチャレンジ (1)

「防府市役所節電実行計画」のうち次の取組を徹底する。

- ・ 来客等の場合を除き、昼休み時は消灯する。
- ・ 閉庁後17時30分を目途に執務室内を一旦消灯し、必要な場所のみ再点灯する。
- ・ 執務室内の使用しない場所の照明は常時点灯しない。
- ・ 家電製品の利用を制限する。(個人用扇風機・暖房機器の使用禁止。電気ポットの湯沸かし機能、コーヒーマーカーの保温機能の使用禁止)

・組織のチャレンジ (2)

PCモニター上での資料確認や両面印刷の積極的な活用に取り組み、可能な限り印刷枚数を削減する。

個人

・個人のチャレンジ

(1) 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らし、マイバック、マイボトルを使う。



組織



- 組織のチャレンジ（1）
「防府市役所節電実行計画」の実効性を高める。特に次の取組について徹底させる。
 - 来客等の場合を除き、昼休み時は消灯する。
 - 閉庁後17時30分を目途に執務室内を一旦消灯し、必要な場所のみ再点灯する。
 - 執務室内の使用しない場所の照明は常時点灯しない。
 - 家電製品の利用を制限する。（個人用扇風機・暖房機器、電子レンジの使用禁止。電気ポットの湯沸かし機能、コーヒーマーカーの保温機能の使用禁止）
- 組織のチャレンジ（2）
PCモニター上での資料確認や両面印刷の積極的な活用に取り組み、可能な限り印刷枚数を削減する。
- 組織のチャレンジ（3）
ごみの分別収集を徹底する。
- 個人のチャレンジ
(1) 近距離については、可能な限り自動車を使用せず、自転車・徒歩により移動する。

個人

組織

- ・ 組織のチャレンジ (1)
「防府市役所節電実行計画」のうち次の取組を徹底する。
 - ・ 来客等の場合を除き、昼休み時は消灯する。
 - ・ 閉庁後17時30分を目途に執務室内を一旦消灯し、必要な場所のみ再点灯する。
 - ・ 執務室内の使用しない場所の照明は常時点灯しない。
 - ・ 家電製品の利用を制限する。(個人用扇風機・暖房機器の使用禁止。電気ポットの湯沸かし機能、コーヒーマーカーの保温機能の使用禁止)
- ・ 組織のチャレンジ (2)
PCモニター上での資料確認や両面印刷の積極的な活用に取り組み、可能な限り印刷枚数を削減する。
- ・ 組織のチャレンジ (3)
1年以内に賞味期限を迎える備蓄用非常食については、市又は地域が行う防災訓練等で積極的に活用し、フードロスを抑える。



個人

- ・ 個人のチャレンジ
(1) 公私ともに近場への移動は自動車の使用を控え、徒歩又は自転車を使用する。

組織

- ・組織のチャレンジ (1)
「防府市役所節電実行計画」のうち次の取組を徹底する。
 - ・来客等の場合を除き、昼休み時は消灯する。
 - ・閉庁後17時30分を目途に執務室内を一旦消灯し、必要な場所のみ再点灯する。
 - ・執務室内の使用しない場所の照明は常時点灯しない。
 - ・家電製品の利用を制限する(個人用扇風機・暖房機器の使用禁止。電気ポットの湯沸かし機能、コーヒーマーカーの保温機能の使用禁止)



- ・組織のチャレンジ (2)
PCモニター上での資料確認や両面印刷の積極的な活用に取り組み、可能な限り印刷枚数を削減する。



個人

- ・個人のチャレンジ
 - (1) マイバックやマイボトルの利用により、不要なゴミを出さない。
 - (2) 近場での自動車利用を控え、積極的に徒歩や自転車での移動をする。
 - (3) 家庭においても、不要な電気の消灯やエアコンの適度な温度設定などに努める。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
「防府市役所節電実行計画」のうち次の取組を徹底する。
 - ・来客等の場合を除き、昼休み時は消灯する。
 - ・閉庁後、窓口延長日以外は17時30分を目途に執務室内を一旦消灯し、必要な場所のみ再点灯する。
 - ・執務室内の使用しない場所の照明は常時点灯しない。
 - ・家電製品の利用を制限する。(個人用扇風機・暖房機器、電子レンジの使用禁止。電気ポットの湯沸かし機能、コーヒーマーカーの保温機能の使用禁止)
- ・組織のチャレンジ（2）
PCモニター上での資料確認や両面印刷の積極的な活用に取り組み、可能な限り印刷枚数を削減する。

個人

- ・個人のチャレンジ
 - (1) 各家庭において節電に努める。
 - ・不要な照明の消灯
 - ・エアコンの温度を控えめに設定し、必要な時のみ使用
 - (2) 使い捨てプラスチックの使用軽減
 - ・マイバック、マイボトルの活用

組織

◆ノーマイカーウィークの促進◆

市民に環境や公共交通について考えてもらう機会づくりとして、ノーマイカーウィーク運動を実施し、自家用自動車での外出を抑制することにより、CO2排出量を削減します。

◆包括連携企業と連携したカーボンニュートラル市民運動の啓発◆

防府市と日本郵便株式会社防府市内郵便局等との包括連携協定に基づき「カーボンニュートラル市民運動」の啓発を行います。

省エネ行動啓発シール（郵便ポストへ貼付）



啓発シール（配達用バイクへ貼付）



啓発シール（郵便局車両へ貼付）



幟旗（市内郵便局へ掲揚）



個人

- ◆節電◆ 家庭でも消費電力の削減に努めます。（エアコン温度設定見直し等）
- ◆ゴミ減◆ 裏紙の積極利用でコピー用紙購入量を削減します。
- ◆エコ移動◆ 近距離は自転車移動、遠距離の車移動はエコドライブを徹底します。

組織

◆自治会防犯灯◆

市内の交通安全と防犯のために自治会が設置する防犯灯について、LED化を促進し、CO2排出量を削減します。

◆各出張所における緑のカーテン◆

市内出張所においては、緑のカーテンを設置し、室内温度の上昇抑制を図り、省エネルギーに取り組みます。



個人

- ・昼休み等のこまめな消灯により節電に努めます。
- ・プラごみや資源ごみなど、ごみの分別に積極的に取り組みます。
- ・食品のロスをなくすため、スーパーでの陳列棚の手前から商品を取ります。
- ・コンビニやスーパーへ行くときはマイバックを持参し、レジ袋をもらわないよう努めます。

組織

- 1 カarbonニュートラル活動を広報媒体で積極的に情報発信！**
取り組みやイベントを様々な広報媒体で発信し、機運を醸成
テレビや新聞等への露出により、多くの市民に周知が可能に
- 2 市広報を通じて、まちぐるみによるカーボンニュートラルを実践！**
市広報で市民、事業者、団体のカーボンニュートラル実践活動を連載
「まちの好事例」を広く発信し、実践活動の横展開を大きく促進！
- 3 各種申請手続きを電子受付に移行！**
紙ベースの申請を電子受付とすることで、紙、要する時間を省く



個人

個人的チャレンジ

- ・「いま！すぐ！みんなで！ 節電・ゴミ減・エコ移動！」を各家庭で実践
- ・食材を購入する際は手前取りを実践
- ・カーボンニュートラル活動に関するツイート記事をリツイート



組織

チャレンジ1弾 業務端末をデスクトップ型からノート型へ変更！

効果：端末の持ち運びにより、会議等で説明書類を印刷する必要がなくなる。
ペーパーレス化に加え、Color化による分かりやすい資料が作成できる。
職員1名あたり、A4版1000枚削減チャレンジします。



イメージです。



チャレンジ2弾 職場の森作戦 – ミニ観葉植物を職場で育てる！

効果：観葉植物によるCO₂の吸収に加え、精神的やすらぎ空間を創出する。
1年間でスギ1本分のCO₂を吸収チャレンジします。

個人

個人的チャレンジ

- 家庭でも徹底的に節電に努める（エアコン温度設定見直し、冷蔵庫の詰めすぎ等）。
- ごみの分別やマイボトル、マイカップの利用により、ごみの減量化に取り組む。
- 近場は徒歩や自転車により移動する。
- まとめ買いにより、自動車の利用回数を減らす。
- なるべく地元のスーパーで買い物し、ネット通販を利用しない。
- 必要ない時にスマホを見ない。



組織

- ・観光振興課が管理する観光施設（三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館、まちの駅うめてらす、サイクリングターミナル）も含め、不要な照明を付けないなど節電を徹底します。
- ・サイクリングターミナルに緑のカーテンを設置します。
- ・イベント等の告知はSNSを積極的に活用し、ポスターやチラシは適正な数量とすることで、紙の使用量の削減に努めます。

個人

- ・近距離は自転車・徒歩で移動し、車の使用は控えます。
- ・業務上残業する場合、 unnecessaryな電気は切る等の節電に努めます。



組織

- ・ キリンレモンスタジアム野球場の改修
メインスタンド照明のLED化、外野天然芝の改修を行う。
- ・ 各種イベント、大会申込のデジタル化
スポーツフェスタ、防府読売マラソン大会等の申込をデジタル化し「紙」の使用量を減らす。
- ・ ごみの分別
ごみの分別をしっかりと行い、リサイクル可能なものは資源ごみとして排出する。
- ・ 節電
不要な電気を消すなど、節電をこころがける。
- ・ キリンレモンスタジアム体育館に緑のカーテン（ゴーヤ）設置



個人

- ・ 近い所へは、徒歩や自転車で移動

組織

- ・文化財郷土資料館に、「LED照明」を導入します。
- ・文化財郷土資料館に、「緑のカーテン」を設置します。
- ・文化財郷土資料館、三友サルビアホールに、サルビア等のプランターを設置します。



(三友サルビアホールのプランター)

個人

- ・業務において近い場所には徒歩や自転車で移動します。
- ・使用しない場所については、こまめに電気を切る等、節電に努めます。

組織

- (1) 「第1回カーボンニュートラルチャレンジフェスタ」開催
 - ・カーボンニュートラルシティ・チャレンジ宣言を行います。
 - ・「いま！すぐ！みんなで！節電・ゴミ減・エコ移動」をスローガンに、カーボンニュートラルの実現に向けた機運醸成を図ります。
- (2) CO2削減ほうふ市民運動の充実
 - ・サイクルフェスタの開催、小学校等での環境教育を充実させます。
- (3) 市有施設への太陽光発電設備設置に係る実施設計の実施
(文化財郷土資料館、アスピラート、保健センター、ソラール
キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府など)
- (4) 市有施設照明LED化の計画的な推進
(防府駅周辺施設街灯、ファミリーサポートセンター、サンライフ防府、
文化財郷土資料館、キリンレモンスタジアム野球場、
公民館（富海、野島、右田）など)



個人

- (1) 所属職員は「いま！すぐ！みんなで！ 節電・ゴミ減・エコ移動！」を實踐中
令和5年度の目標 節電・・・家庭の消費電力削減！
ゴミ減・・・裏紙の積極利用でコピー用紙購入量削減！
エコ移動・・・近場は自転車、車乗るならエコドライブの徹底！

組織

グリーン by デジタル

(1) 窓口支援システムの導入により、申請書等を電子的に作成、保存することで文書のペーパーレス化に取り組みます。

(2) 引越ワンストップサービスなどオンライン申請やコンビニ交付サービス利用促進により、移動の削減による省CO2化に取り組みます。



個人

・個人のチャレンジ

(1) プラ製・紙製容器包装や資源化可能な雑紙用のゴミ箱（ごみ入れ）を個人や係単位で準備するなどして、徹底的にごみを分別し、可燃ごみの減量化に取り組みます。

(2) 詰め替えできる商品やマイ箸の利用により、ごみの減量化に取り組みます。

(3) 3010運動、適量注文、食べ物シェアなどにより宴会時の食べ残しゼロに取り組みます。

組織

・用紙の使用量の縮減

番号系端末を使用する事務について、電子決裁の運用を見直し、用紙の使用量を縮減する。

住民異動の際の国民健康保険や国民年金などの手続きに関し、窓口支援システムを導入することにより、申請書等のペーパーレス化を図る。

マイナンバーカードの利用促進の一環として、国民健康保険の限度額認定証の交付を紙からマイナンバーカードへの転換を促進し、ペーパーレス化を図る。

個人

・マイ箸運動の推進

お弁当を注文する職員は、マイ箸を持参する

マイ箸の持参により、 $0.674g$ ／一日・一人のCO₂を削減



組織

・ **ほうふエコまつりの開催**

カーボンニュートラルチャレンジフェスタの一環として、子どもから大人までいろんな「エコ」を見て、知って、体験できる環境イベントとして「ほうふエコまつり」を開催します。

・ **バイオマスプラスチック製の市指定ごみ袋の製作**

バイオマスプラスチックを使用した防府市指定ごみ袋を製作し、温室効果ガス排出量を削減します。

・ **ダンボールコンポスト作り方教室の開催**

クリーンセンターや公民館でダンボールコンポスト作り方教室を開催し、生ごみの堆肥化による「ごみ減」を推進します。

・ **高効率な廃棄物発電**

国内初のごみ焼却・バイオガス化複合施設において、高効率なごみ発電を行います。



個人

・ **ふんわりアクセルによるエコドライブによる自動車燃料の削減**

・ **コピー用紙使用量の削減**

両面印刷、裏紙使用、2アップ印刷などによりコピー用紙の使用量を削減します。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
文書や資料等の電子データでの活用に取り組み、ペーパーレス化を図ります。
介護認定審査会において、令和4年度に導入したタブレットを活用して、WEB&ペーパーレスによる審査会を開催します。
(令和5年度見込：約200回の審査会、紙の資料約60,000枚の削減)
- ・組織のチャレンジ（2）
執務室における不要な照明のこまめな消灯、また、ごみの削減に努めます。

個人

- ・個人のチャレンジ
ごみの適正な分別に取り組みます。
文書や資料等を可能な限り電子ファイルで保管するよう努めます。
時間外勤務の削減に努めます。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
電力消費を抑えるため、不要な照明のこまめな消灯、残業時間の削減に努めます。
- ・組織のチャレンジ（2）
ペーパーレス化を図るため、電子データによる情報の閲覧・共有・保管に努めます。

個人

- ・個人のチャレンジ
緩やかな加速・減速、アイドリングストップ、低燃費タイヤへの交換などエコドライブの実践に努めます。
ごみの適正な分別に積極的に取り組みます。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
休憩時間は窓口以外の電気を消灯する。
- ・組織のチャレンジ（2）
クールビズ、ウォームビズに努める。
- ・組織のチャレンジ（3）
電子データでの共有に努め、紙使用を削減する。



個人

- ・個人のチャレンジ
裏紙で代用可能なところは活用する。
ファイルの整理に努める。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
公立保育所と留守家庭児童学級にて緑のカーテンを作成。
夏場に冷房の使用を抑えるだけでなく、園児や児童に向けて環境保護の啓発を行う。
- ・組織のチャレンジ（2）
ゴミ袋がいっぱいになるまで捨てない。

個人

- ・個人のチャレンジ
裏紙で代用可能なところは活用する。
ごみの分別を行う。
(紙類をゴミ箱に捨てず、シュレッダーか資源ごみにわかる。プラスチックごみを燃やせるごみで捨てない。等)

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
電子データによる文書の決裁・供覧を行い、ペーパーレス化に努めます。

- ・組織のチャレンジ（2）
昼休みや退庁時のこまめな消灯を行い、電力消費の削減に努めます。

＜緑のカーテンの設置＞（節電）
福祉センターにおいて緑のカーテンを設置し、環境にやさしい施設管理に取り組みます。

個人

- ・個人のチャレンジ
ごみの搬出要領を熟読し、ごみの分別を適正に行います。

組織

・組織のチャレンジ
＜冷暖房の効率化＞（予算化事業）
全館空調から全室個別空調へと改修を行います。不要な冷暖房の抑制と機器の更新により、エネルギー効率の向上を図ります。

＜緑のカーテンの設置＞（節電）
保健センターにおいて緑のカーテンを設置し、環境にやさしい施設管理に取り組みます。



＜保健センター緑のカーテン＞

個人

・個人のチャレンジ
＜ペーパーレスの推進＞
電子のみ決裁を推進します。
紙の印刷においては、両面印刷・2UP印刷を使用します。

＜徒歩・自転車の利用＞
通勤や私生活において、近距離の移動等は徒歩や自転車で行います。

組織

- ・ 組織のチャレンジ
- ◎ 近距離の移動には、自動車以外の乗り物を使用することを基本とする。
- ◎ 電灯やパソコンの不使用时には、こまめにスイッチを切る。

個人

- ・ 個人のチャレンジ
- ◎ 家庭での電灯器具を取り換える場合は、LED電灯器具とする。
- ◎ 通勤時に自動車を使用しないように心がける。



産業振興部 農林水産振興課・農林漁港整備課
令和5年度カーボンニュートラル・チャレンジ宣言

組織

・ **環境負荷低減の取組**

輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量低減につながる有機農業や環境保全型農業を、防府市有機農業推進計画に基づいて推進します。

・ **ブルーカーボン増加の取組**

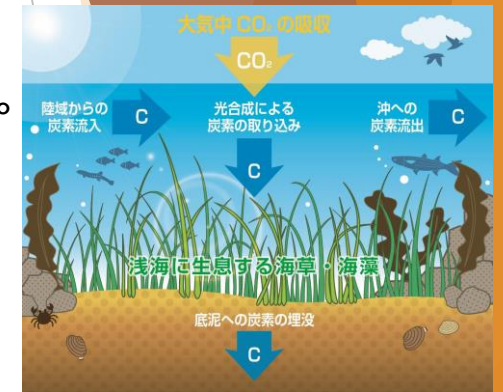
漁場環境整備と併せ、CO₂の吸収機能を持つ、藻場の再生を推進します。

・ **2050年の森づくりプロジェクト**

CO₂の吸収源等の森林の持つ多様な機能を活かし、CO₂削減を図るため、森林資源を循環させる2050年の森づくりプロジェクトの取組を推進します。

・ **佐波川流域環境保全プロジェクト**

佐波川流域の森林資源の利活用の促進及び、環境意識の高揚を図るため、山口市と連携して、啓発マップの作成、イベント交流等を実施します。



個人

・ 概ね30分以上離席する際は、PC等の電源を切ります。



組織

・ **エコライフ住宅推進事業**

住環境におけるCO2の削減や市内経済の活性化を図るため、県産木材の使用や環境に配慮したリフォームに係る経費を助成します

〔補助率：県産木材使用の場合 対象工事の20%・その他10%〕
〔上限額：県産木材使用の場合 20万円・その他10万円〕

・ **中小企業振興資金融資事業(DX・カーボンニュートラル導入資金)**

カーボンニュートラルに資する設備の整備や、DXを導入する中小企業のための融資制度を新設します

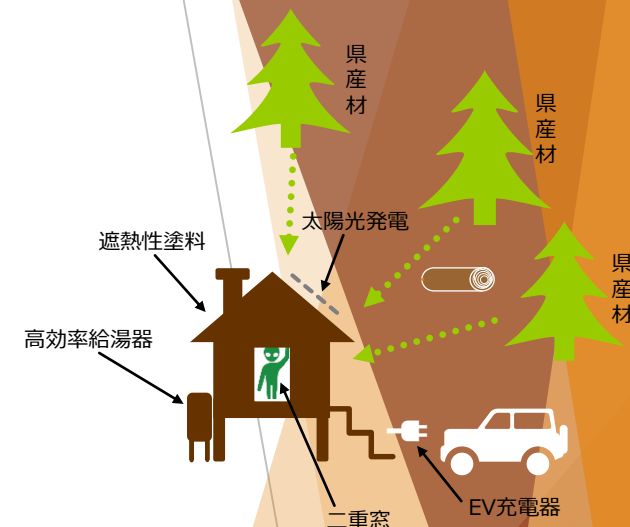
〔融資限度額：15,000千円〕

個人

- ・ まちなかの移動にはできるだけ自転車を使用します
- ・ ごみの分別を徹底します



エコライフ住宅事業 イメージ



〈 脱炭素等に取り組む中小企業者への支援 〉

創業・交流センター(コネクト22)において、市内事業者からのカーボンニュートラル等に関する相談を受け付け、支援を行います。

組織

・ **環境に配慮した防府競輪場施設整備**

建設工事が始まる新しい競輪場において、太陽光発電設備や電気自動車充電スタンド、LED照明の設置を行います。

・ **環境にやさしい自転車の普及促進**

おもしろ自転車などの自転車が楽しめるイベントを実施し、令和6年度供用開始予定の新しい防府競輪場をPRするとともに、環境にやさしい自転車の普及促進を図ります。

(佐波川サイクルフェスタ、各種イベントでの競輪ブースの出展、ルルサスへの足漕ぎ発電機の設置等)



個人

・ 概ね30分以上離席する際は、PC等の電源を切ります。

組織

- 組織のチャレンジ（1）
道路照明のLED化。
- 組織のチャレンジ（2）
排出ガス対策型建設機械の導入推進。

個人

- 個人のチャレンジ
ごみの分別処理の徹底。

組織

- ・組織のチャレンジ（1）
 - 緑地の適切な管理。

- ・組織のチャレンジ（2）
 - 業務時間外の不要電灯の消灯。



個人

- ・個人のチャレンジ
 - ごみを捨てるときは分別処理をする。

組織

- ・組織のチャレンジ
 - (1) 駅周辺街路灯のLED化
 - (2) 駅周辺広場等の緑化の推進
 - (3) 山口県産木材を使用したインクルーシブ遊具の設置
 - (4) 脱炭素型の製品を積極的に選択・購入



個人

- ・個人のチャレンジ
 - 1 節電・節水
 - 2 徒歩や自転車、電動バイクでのエコ移動を実践

組織

・組織のチャレンジ（1）

市営住宅の共用部分の照明についてLEDの設置を進めます。

◆ LED照明の設置

- ・共用部分階段
- ・集会所



個人

・個人のチャレンジ

- ・公用車の運転の際に「ふんわりアクセルスタート」を心がけます。
- ・用紙の裏面利用等、再利用を行います。

組織

- ・組織のチャレンジ
 - (1) 緑のカーテン
 - 駅南事務所の南側窓に緑のカーテンを育成させて、CO₂削減及び夏季における室内温度の上昇を軽減させる。
 - (2) 資源の再利用
 - ミスプリント、ミスコピー紙の裏面を再利用するなど、紙類の排出削減に努める。

個人

- ・個人のチャレンジ
 - 移動手段に、徒歩、自転車や公共交通機関の利用に努め、マイカー利用者も「ノーマイカーデー」の日を月1回は、積極的に設ける。(休みの日に利用を控えるなど)



組織

電力消費量の削減

- ・就業前や昼休みには消灯し、不要な照明の消灯を徹底する。
- ・残業時間を大幅に削減し、時間外に照明の利用をしないよう努める。
- ・電化製品の使用を制限する。（電気ポットの湯沸かし機能の禁止）



紙の使用量の削減

- ・P C上での資料確認に努め、可能な限り印刷をしないよう取り組む。
- ・個人で確認するだけの印刷は裏紙を使用する。

個人

個人のチャレンジ

- ・ごみの適正な分別に取り組む。
- ・業務を見直し時間外勤務の削減に努める。



組織

- ・組織のチャレンジ（1）
ごみの分別を徹底し、燃えるごみの削減を図り、燃えるごみの搬出を週2回から原則週1回にする。
- ・組織のチャレンジ（2）
公用車を利用しなくても済む、荷物の少ない近距離の移動用務については、自転車や徒歩で移動する。

個人

- ・個人のチャレンジ
マイボトルやマイ箸を利用することにより、ごみの削減を図る。



組織

・組織のチャレンジ

- ・ 始業前と昼休み時間は、執務室の照明を支障のない範囲で消灯とする。
- ・ 議会棟内の会議室の照明をこまめに消す。



個人

・個人のチャレンジ

- ・ 自動車通勤から燃費の良い小型二輪での通勤に変更する。
- ・ 必要以上に自動車を使用せず、自転車や徒歩に努める。
- ・ 職場にマイボトルを持参し使用する。
- ・ マイ箸を使用し、家庭や職場内でごみの分別に努める。
- ・ 使い捨て弁当箱を使用した弁当を注文しない。
- ・ 冷蔵庫を満タンにしない。
- ・ 家庭においても「紙」と「雑がみ」を分別する



組織

- 組織のチャレンジ (1)
昼休みや退庁時にこまめな消灯を心がけ、電力消費の削減に努めます。
- 組織のチャレンジ (2)
近距離の移動には、できるだけ自動車の利用を控えます。



個人

- 個人のチャレンジ
徒歩や自転車での通勤を心がけます。
ごみの削減に心がけるとともに、ごみを搬出する際は分別処理を徹底します。

組織

・組織のチャレンジ

(1) 電力消費を抑えるため、不要な照明のこまめな消灯、消費電力の削減に努めます。

(2) ペーパーレス化を図るため、電子データによる情報の閲覧・共有・保管に努めます。

個人

・個人のチャレンジ

(1) プラ製・紙製容器包装や資源化可能な雑紙用のゴミ箱（ごみ入れ）を準備するなどして、徹底的にごみを分別し、可燃ごみの減量化に取り組みます。

(2) 詰め替えできる商品やマイ箸の利用により、ごみの減量化に取り組みます。



組織

- ・組織のチャレンジ (1)
こまめに電気を消したり、 unnecessaryな電化製品を利用しないことにより節電に取り組む。
- ・組織のチャレンジ (2)
ミスプリント、ミスコピー紙の裏面を手差しトレイにセットし、極力手差しトレイから印刷することにより、紙類の排出削減に努める。

個人

- ・個人のチャレンジ
マイボトルやマイ箸を利用することにより、ごみの削減を図る。



組織

- ・組織のチャレンジ（1）
PHEV車の購入・活用
- ・組織のチャレンジ（2）
みどりのカーテンの実施
（本署、南出張所、東出張所の3か所で実施）
- ・組織のチャレンジ（3）
電気使用量10%減を目指して
ア 昼休憩の完全消灯、17時以降の空調の停止を徹底
（窓口対応中を除く）
イ 当直勤務における不必要な照明の消灯、空調の停止を徹底



個人

- ・個人のチャレンジ
（1）徒歩や自転車での通勤
（2）家庭ゴミの分別を徹底
（3）エコドライブの実践



組織

・ **学校施設の長寿命化改良工事（桑山中学校北校舎、佐波中学校屋内運動場、華浦小学校南校舎）**

老朽化した学校施設の長寿命化改修工事において、照明のLED化改修や、内装の木材利用、太陽光発電設備の設置など、環境に配慮した施設の改修を行います。

・ **屋内運動場の照明LED化改修工事（富海小学校・牟礼小学校）**

屋内運動場の照明をLED化改修工事を実施し、施設の省エネルギー化による電気使用量の削減をめざします。

・ **市内小・中学校の学校図書館における意識啓発**

カーボンニュートラルに関する壁新聞を作成し、学校図書館に巡回掲示することにより、児童・生徒の意識啓発を行います。



（木材利用の例：中関小学校）



（LED化の例：牟礼南小学校）



（昨年度の学校図書館における取組事例：大道小学校）

個人

- ・ 個人的な資料の印刷は裏紙を利用する。
- ・ 保温ポットを利用する。（湯沸かし機能の使用禁止）
- ・ 使用しない場所については、こまめに電気を切るなど、節電に努める。

組織

・給食残菜の堆肥化

学校から排出される学校給食の残菜をごみとして廃棄するのではなく、生ごみ処理機で堆肥にします。生成された堆肥を学校等の花壇や菜園に必要な肥料として活用するなど、環境に配慮した取組を実施します。

・ほうふっ子エコスクール事業

市内小・中学校において牛乳パックリサイクルによる「ほうふっ子エコスクール事業」を推進し、限られた資源を有効活用しようという児童・生徒の意識を高めていきます。実施日を週3日以上に増やし、リサイクルに取り組み、環境教育の推進を実施します。

個人

- ・離席時のこまめな消灯、弁当殻などの分別に取り組みます。
- ・家庭でのリサイクルに積極的に取り組みます。
- ・「混ぜればごみ 分ければ資源」を念頭に置き、分別に心がけます。
- ・マイボトルを持参したり、食品ロスをしたりしないようにします。
- ・移動のときに公共交通機関や自転車を使います。



「ほうふっ子エコスクール事業」は牛乳パックリサイクル実施日を週3日以上⁴³に増やし、更なる環境教育を推進します。

組織

- ・ **公民館等照明器具LED化事業**

富海公民館、右田公民館及び野島漁村センターにおいて、カーボンニュートラルの実現に向け、照明器具をLED化します。



- ・ **緑のカーテン設置**

所管施設（文化福社会館や各公民館等）に緑のカーテンを設置し、夏場の節電を図るとともに、地域の方々に節電意識の啓発を図ります。



個人

- ・ 不要な照明はこまめに消灯し、節電に努める。
- ・ 個人的な資料の印刷は裏紙を利用する。
- ・ 保温ポットを利用する。（湯沸かし機能の使用禁止）

組織

・電気自動車の導入

庁用自動車の更新時期に合わせ、車両1台を電気自動車へ更新購入します。

・施設への省エネルギー機器の導入

照明器具等をLED化します。

機械設備を省エネルギー（高効率）機器へ更新します。

・節電の徹底

空調を最低限に抑えます。（服装で調節）

残業時間の短縮に努め、残業時間は不要な照明の消灯を徹底します。

・ゴミの削減

印刷用紙の裏紙使用の徹底やペーパーレス化を推進します。

ゴミの減量に意識を高く持つとともに、ゴミの分別を徹底します。

・庁舎の緑化

庁舎東側の花壇やプランターを活用し、草花の植栽を推進します。



個人

・エコドライブを実践します。

・マイ箸、マイボトル、マイバックを活用します。

・自宅において節電、緑化に取り組めます。